

情報表現論10 020624

書くことが順序良く並んでいるので本当に書きやすかった。図解してから文章におこす図解文章法は、その図を更に深く理解する事ができていいと思う。全体像がしっかり出来上がっているので文章にするのも楽しかった。私は自分で図を書くよりこっちのが好きかも..

良い点 :先生の授業が強烈なブレンディングのため完成される。図解論文が増えて読みやすくなる。悪い点 :必ず本になるため売れる 久恒ブランド高まる 宮城大からいなくなる 宮城の能力低下

図を見て、自分の頭の中でつなげていく事によって理解が深くなるような気がする

今までを逆にしたものですごく面白かった。でも図解を初めに目にした時は理解するのに時間がかかるのを感じた。私はたまたま知っていたものだったので文章に移りやすかったが、もしそれに関する知識が全然なかった場合は理解するのに相当時間がかかったと思う

図解されているということはその文章が論理的に通っているという事であるからまた文章に直す事は簡単な事であるのかもしれないが、その図が下手だったり自分にその図の内容をつかめなかったりしたら、その図は意味の無いものになる

文章がこんなにもスラスラ書けるのかととても驚いた。あえて難しい議題を選んだのに、なぜかペンが進んだ

レポートを書く時などに資料を集め図を書き、いくつかの図を組み合わせそこから感じた事や自分の考えをレポートに書くことによって、良いレポートが作れるのではと思った

いつもは内容を箇条書きにしてから書き始めていたのだが、それだとやはり相互の関係がつかめず、図を見ながら書いた方が効率が良いように感じた。全体がハッキリとつかめる印象を受けた

マスコミ分野に使えるのでは？ ニュース番組において、図を見せながら説明というシーンがよくあるので、簡潔な所とか情報を受け取る側としては良い

法律関係の分野で活用の見込みがあると思う

論理的なもの(企画案など)に適用できるが微妙なニュアンスを表現する(哲学・エッセイ)のが、ふさわしくないと思う。これは弱点ではないか？

図には細かい事が書かれないためその分野について詳しい人は、その図から文章を書くことは楽で、取り組みやすいが、そうでない人には少し難しい事かもしれないと思った

先生が決めた図解からだったので書けば書くほどいつの間にか、全て先生の考えた通りに書いてしまったので、自分の持つ意見が失われた場合もある

「図解文章法」を実践してみても本やニュースを読んだり聞いたりして、文章を書くよりも全体がハッキリつかめてから文章を書くことができるのでとても良いと思った

図解文章法について

図を文章にしてみても感じたのは自分のボキャブラリーがあまりにも少ないという事です。いくら図を文章にするだけだとしても文章が下手だと書けません。でも書いてみないと自分の弱点は見えこないのでもっと書いてみたいと思う

図を文章になおしたが正しくするには知識が必要だと思った

計画

良い点:何を書くべきか分かっているのでも簡単に書くことができること。悪い点:得になし

図解をする時にポストイットを利用して見ている方を見て、「よし真似をしよう」と思った。図解文章法と共通しているのは要点のみが目に入るので整理しやすい事だと思う。体系的に理解する過程がふめめるのだろう

今日はいつもと逆なので新鮮だった。良い図解はそれを文章に直すのが簡単なのだと気付いた。自分が図を書くときにもこの発見を生かしてみると良い図が書ける気がする

個人的には文章を作る方が楽だなと思った。図は書き慣れていないから。最近思うが、図だけではダメだと思うし、図と文章が合っ初めて良い化学反応を生み出すのではないのでしょうか？

図解を文章にするのは書いていて微妙な感覚だった。書きやすさはあるが、そのまま写しているような感じで嫌だった

相関関係が頭の中で整理されて良いと思う。頭の体操にもってこい

図だと本の30字程度なのに文章にしたら5倍位になってしまい驚いた。図ってすごい

図解文章法を行ってみたらこれができて自分のボキャブラリーの無さを痛感した

非常に良いと思う。フルに頭を使えるし、考える力も身に付くと思う。このような教育を小中高大で行えば考える力がすごく身に付くと思う。そうすれば大学生の学力低下を叫ばれる事もなくなると思う

しっかり図の流れが分かっていないと文章にできない。できても前と後ろでつながらない文章になってしまう。結論は何なのか、それを導くための図は、どこにあるのか分からない図だと大変だと思った

図を文章に直すことは、更なる理解を深めるために、重要であるのではないかと思った。いい勉強になった

情報表現論10 020624

図を文章にする際に自分の持っている知識を取り込むことでより物事に対する理解が深まるように思えた。矢印の持っている意味も、文章にする事で明確になる感じがした

分かりやすい図から文章を書くことは分かり易い文(良文)の作製にもつながる

図から文章を書く方が、やりやすかった。小論文の書き方について、本を読んだり指導を受けたりしましたが、そういうものよりも、良い図から文を書く方が、良い論文を書けそうな気がする

図を文章に“復元”すると曖昧な点が出てくる。まず矢印をどんな接続詞に置き換えるかだ。次に図と図のつながりをスムーズな流れにのせて文章にするかだ。簡素にまとめているからこそ抜けている部分も多くあると思う。知識がないとそのつながりが見えてこない

可能性:どの分野にも応用できそう。図解論自体まだ伸びる余地がある
良い点:予め書くべき項目が決まっているので書きやすい
悪い点:図の作者と意見が異なる場合、とてもやりづらい
感想:与えられた項目分野についての知識がないと全書けないので、がっかりした



良い点:理路整然と書ける。文章の始まりから終わりまで構成を把握した上で書ける
悪い点:今の所見当たらない? (あえて言えば、図によって事実と主観の違いが若干見えなくなる)
可能性:図で例や補足を書いたサマリーを作成、文章の冒頭に。その後文章で一気に読ませる。
感想:面白いです。文章を書くのが楽しいのは久しぶりでした。書いてるうちに自分の頭のいい奴に思えてきます

図解文章法には図の製作者の意思が解りづらいという難点があると思う。図は理解するスピードを速め、情報の伝達には、この上ないのだけどどのようなスタンス指向で図が書かれたのか誤読される可能性があると思う

要点だけがまとまっているので見やすいし分かりやすいが書く人によって様々な図が出てくるので、その図を見る人も書いた人の主張に流されないで自分なりに身に付けていく事が難しい。感じた事や考えた事を体系的に考え、身に付けるという訓練は、物事をハッキリさせるのにとっても役立つ事だと思う

論点が抜けた文章になる恐れがあるのでは?

情報が整理されているので分かりやすいと思う。しかし図解を文章にした場合、1つのセンテンスが短くなり過ぎて接続詞が多くなってしまうのと文章に比べて情報量が少ないのを感じました

いい図解ではいい文章が書けることが分かった

図を解読しつじつまの場合文章を起こすことは、全く困難ではなかった。ただ図解の性格上、明確な表現になりがちなため小さい情報が薄れてしまっている事が多い

頭に図があるけれど何か読書感想文みたくなってしまった。図だけでは細かいニュアンスが伝わらないので文章もあって良いと思う。本を書くのに、図だけでは伝えにくいですし



パッと図を見ると一瞬で全てを理解したような気分になってしまうがこのように文章で書くと細かなつながりや内容図の全体図を理解していなかった所を発見しもう一度図をしっかりと見直すことができた

今回はいつもと逆で慣れない作業のためとても難しかった。でもこれができる様になれば文章を理解する力だけでなく図解を理解する力も身に付くと確信した

いつもより疲れるけど頭は大して使わないから楽だった。決められてある内容に文章を補足していくだけの作業だからね

事前に図に関する補足説明を受けていないと文章にしにくい部分が結構ある

大変面白い考え方で自分の理解度が試せる。文章力も図解を読み取る力もつくと思う

要点がまとめられていて良いと思うが、図解を読み間違えたら大変だと思う。今日の作業は慣れていないので、とても疲れた

文章にする事によって図の欠点が見えたり図の質が図れる。文章にしやすい図は良い図である

【図解文章法】
良い点:文章が書きやすい
悪い点:2度手間になる

図解を見て文章を書く方が簡単だった。図解でいう矢印を文章では接続詞として扱う事ですんなりと文章を組み立てる事ができた。文章と図解の不思議な関係に気付いた

適当な図だと文章にならないので図の校正に使えるかも

文章を書くのが本当に苦手ですが図をもとに書くと驚くほどスラスラと書けました。改めて図のすごさを実感

理解したように思えて、実際使おうとしたら理解してない事に気付いた

情報表現論10 020624

初めてやってみて、自分が今までたいして考えた内容じゃない事でもスラスラと文章が書けることにビックリした。でも、キーワードを中心として図にするので、キーワード自体の内容が理解できていないとちょっと難しいと思った

文章を書く前に図を作ってしまうとそれを辿っていくかのように書いていけば論理的で明確な文章ができると思った。感動した

図の方が分かりやすいからわざわざ文章にしなくても..と思ったが、説明するには役立つかもしれない

自分が余り知識が無い分野は図から文章にするのは難しいと思った。また他人の書いた図を文章にすると大まかな流れは類似できて細かい部分は、読み取りが人によって違ってくると思う

自分の頭の中で理解しながら文章にできると思った。でもどういう表現が適切かを考えた時自分の国語力が足りないと思った。図解の他に本を読んで、表現力を身に付けたいとも思った

図の流れに沿って文章化できるので順を追って説明しやすく読み手・聞き手にも話の内容を理解してもらいやすいと思う。ただ**重要な部分の説明には、もう少し肉付けをしないとハッキリしない文章構成になりやすい**と思う

初め少し戸惑ったが書き始めるとスラスラ書けてしまって自分でも驚いた。「起承転結」をつけて書くのが苦手だがこの方法ならできそう

書き出すのが遅かったけど段々スラスラ書けるようになって、面白くなってきました。私は文章を書くのが好きなので、図解文章の方がいいのかなと思います。図解文章法で書いた文章は相手にきちんと伝わるように言葉で伝えようとするのですごく分かり易いと思った。また書いてみたい

デ情

文章にするのはいいが見易さ文字のキレイさは要求されるのか?

仕事において図解文章法はなかなか使えると思う。というより今現在、色んな所で使われているのではないだろうか?ただ、一見して大まかな流れはとらえられてもきちんとした理解につなげる事は少々難しいように感じる。説明不足になっているものが多いという事が多々ある。もう少しその辺を改善しなければいけないのではないだろうか

図と文章の行き来により内容が何倍も早く深く理解できると思った。どちらか一方だけだと期待が薄れる。今日のこの図解文章法は使えると思った

可能性としては、図が展開されている事でスラスラと書きやすい。内容が一瞬で把握できるため、文章が推敲しやすい。But憶測や解釈の違いで、間違った文になる可能性がある。よって自分の意見を踏まえた文章を展開すべき

図を理解したかを確かめるには良い方法だと思う。しかし図を全て文章にしてしまおうとして時間がかかり確かめるというよりも単なる作業になっている気がする

図解文章法は普通にいいと思う。文章が苦手な自分もスラスラ書けたので自分でも驚きです

看護

分かりやすい図が与えられて文章にしやすかった。説明の時先生は口で話していましたが私たちは文章にしました。話すのと書くのではまた違うと思った。やはり図解の威力は恐ろしいです

既に骨組みが図として出来上がっているので書きやすいが自分自身の持つ知識や文章力がすごく試されるものだと思う。文章から図よりも難しいと感じた

図解文章法を今回やってみてすごく難しいと思った。でも文章を図解にする事も理解が深まると思ったが、図解を文章にする方がより多くの知識が無いと書けないと思った。図解を文章にする事は、より国語力が必要になるので、いい方法に感じた

自分の意見がまとまりにくい人でも図を見て文章にしていくうちに自然と考えがまとまるのではないかなと思った。実際私も、すんなりと頭の中に意見が浮かんだ。しかし逆に数字などを使う時にイメージしにくく、ただ漠然と数字があると何が言いたいのか分からない。7月15日の野田先生の講演が楽しみだ。情報表現論に関する話を話していただけるのでしょうか?

図を理解しないと難しい

良い点:どんな人でも大体の流れがつかめる
悪い点:図に頼るため細かい点を深く掘り下げる事ができない

文章のみで理解しようとするよりも図を使って理解しようとする方が断然理解できていることを改めて気付かされ、自分でも驚いた

論理的に文章が書ける気がした。だが自分の稚拙な文章力ではせっか図解の持つ分かりやすさ見易さが半減されてしまっている

図解文章法の方がやり易かった。しかし接続詞や主語が欠けている。図解を文章にしたら訳が分からなくなったので、その場合どうすべきか知りたい

情報表現論10 020624

文章の構成も図を見ながら考えるのでとても活発に頭が回転してる気がした

図を書くことで物事を立体的に理解でき、更に文章力もアップするからいい方法かもしれない。大学生の国語力低下の課題をやってから私自身文章力の無さが気になって仕方ないので。今日みたいに初めに何を書くべきかの柱がハッキリしていると途中で変な所に話がそれてしまう事もないしいいですね

先生の図解を見て、頭の回転と共に、手が動いていて驚いた。今まで図解してきたせい、少しは問題点に関して頭で整理できるようになり文章化するのが楽だった

次回から図を書く時はただ見直すのではなく一度頭を真っ白にしてその図を文章化した時に果たしてキレイな文章、分かりやすい文章になるかを考えていきたい

図にはポイントが整理されているので、文章は余計な所が省かれ、より簡潔なものになると思う。まず図から入ってそれを文章にする事は看護の実践においてかなり活用できると思う

文章を書くのが苦手な私にとって、やはり図解文章法は難しいです

文章化するのはこれまで苦手だったのに不思議とできた！何で？

1つの文章から沢山の図ができるように、1つの図から色々な文章ができていいのですか？1つ1つをどう解釈するかというのも大切だと思った

図解をもとに文章を書くのは考えた文章の構造が図になって表されているので書きやすい

今日は図ではなく文章を書く授業。この授業でアンケート以外で文章を書くなんて、想像もしてなかった。文章を書くことは、普段している事なだけで、図解を文章化するのは新鮮だった

看護

初めて行う事なので難しいと思っていたが図がある程度まとまっていたので、それを文に起こす事は、それ程苦ではなかった

自分の書きたいものを図で明確にしてから文章にすると書きもれもなくなり構造がぐちゃぐちゃにならないので相手に伝わりやすい文章が書ける。また書いている途中で意見やテーマが不明瞭になる事を防げるので結論が抽象的にならない

文章力がつくと思います。接続詞や組み立て表現力が試されるため。文の達人になりたい人はこの方法を試してみると良いかもしれないです

自分で書いた図を見て文章を書くのは2度手間になると思ったが、訳の分からない文章を書いて何度も書き直すよりは、つじつまが合う文章をじっくりスムーズに書いた方がすっきりするかもしれない

文章を読むことが苦手な人や若い子供や老人の方々にも分かりやすいと思う。病院や保健所での説明にも役立つと思うし、頭にも残りやすいと思う

可能性は高い。予め伝えたい事が図式化されまとめやすい

分かりやすく簡略化された図を文章にするには、相当な文章力と語彙が必要だと思う。文章を書く事で、より理解が深まるので、良い点だと思う

始めから文章で書くよりこのように図を使ってから文章にする方が楽に書けるのだと気付いた

図解文章法についてパソコンの「圧縮 解凍」を思い出した。また「鵜呑み」ではなく「自分の言葉」になるのが素敵です

講義の感想

この授業は視野を広げられる素晴らしい授業だ！受身になる面が少なく主体的に参加できる。これからも利用させていただきます

切実に感じたのは、図解は文章の理解力、言語能力とくっついているという事です。素晴らしい文章を書ける人が、必ずしも図解が上手いとはいえないが、図解が上手い人は文章も必ず上手いと思う

その他

図を読む時スタート地点がハッキリしてないと解り辛い。口頭説明と合わせないと、図単体だけでは何だか解り辛い。図が多い気がする

先生の図の作り方を見たのは良かった。特に矢印や箱の形には拘っていないんですね

みんなの図を見て、図もすごいと感動した。先生がコンピュータで図を作ったのを見て、流石だなと感心しました。またそれと同時にスラスラと手で書いたように自分の希望通りの図を作るのをサポートしてくれるコンピュータもすごいと思った。夏休みに集中的に取り組んで、図の作成ができるまでマスターしたい

どんな分野で役に立つか？といえば「あらゆる分野」で可能だと思う。文章を図にするのと同様、図を文章にしてもその事柄に対する理解力は深まると感じます

コンピュータでやるのを見て良かった。あれは学校のラボでできますか？やってみたいです

図で、なぜその図の形が四角であったり角が丸かったり点線であったりするのかわかりません。また色もなぜその色なのか自分の中で理由を作りたい。また理由のある図形を作りたい